

発行所：社団法人 全国鉄道広告振興協会

〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1丁目5番5号 JR恵比寿ビル10階

TEL：03-5791-1808 FAX：03-3443-1616 メールアドレス：information@jarap.jp

URL：<http://www.jarap.jp/>

## 巻頭レポート

# 「聖地」に帰ったF1日本グランプリ

## 聖地・鈴鹿

10月4日午後2時、鈴鹿サーキット国際レーシングコースで3年ぶりのF1日本グランプリ決勝がスタートした。

「ただいま鈴鹿。おかえり日本グランプリ。」と題されるように地元鈴鹿市・モータースポーツファン、そして我々が待ち望んだ「聖地・鈴鹿」のF1日本グランプリ(以下F1GP)の開催である。

鈴鹿サーキットでは2006年まで連続20回のF1GP開催を誇っていたが2007年・2008年は富士スピードウェイで開催され、今回から「鈴鹿」と「富士」の隔



近鉄名古屋駅連絡通路4連ボード



近鉄名古屋駅ホームB1集中貼り

年開催が決定していたところであるが、7月に富士スピードウェイはF1GP開催中止を発表した。

そして8月23日鈴鹿サーキットを運営する株式会社モビリティランドは「F1日本グランプリの歴史が途切れることを回避するのが当面の私共の役割と認識し、開催を決定しました。」という大島社長の談話とともに2010年の鈴鹿サーキットにおけるF1GP開催について\*FOAと契約を締結したことを発表し、2011年までの鈴鹿F1GPが確定した。

大きな経済波及効果をもたらすF1GPは観光資源としても期待され、海外から

の来場者も多くビジット・ジャパン・キャンペーンに対しても日本の認知度の向上という点において鈴鹿F1GPは大きく寄与していると言われており、景気回復の重要なファクターと認識している。また世界各国のメディアの注目度も高く、当然ながら我々にとってもこの期間における媒体展開は最も重要なアイテムのひとつである。

**ようこそ鈴鹿へ、万全の体制でモータースポーツファンを迎える**

今回のF1GPの開催概要は、4月に大改修を終えた新生鈴鹿サーキットにおいて10月2日(金)～4日(日)の日程で開催され、来場者数は10月2日3・1万人、3日7・8万人、4日10・1万人、計21万人が観戦した。主な交通手段のうち鉄道利用者は5・5万人、26%を占め、新名神高速道路の開通や高速道路「1000円効果」などがありながらも前回(2006年)の24%から2ポイント増加した。また近鉄白子駅の利用者は3・3万人で15・8%と前回の13・9%から1・9ポイント増加した。これは事前の公共交通機関の利用促進PRや近畿日本鉄道株式会社・三重交通株式会社・鈴鹿市の協力により近鉄白子駅と鈴鹿サーキットを結ぶシャトルバスの利便性が飛躍的に向上したことなどが要因と考えられる。

株式会社メディアアート  
中部支社 交通広告事業部





改札前特設ボード(B0×6連)



改札前特設ボード(B0×6連)



10月3日(土)予選当日、近鉄白子駅に到着したファン



駅前ロータリー特設ボード(B0×2連)

この3年ぶりの開催に伴い、パナソニック株式会社様による近鉄名古屋線名古屋駅および白子駅ポスター集中掲出(駅ジャケット)を実施した。

近鉄白子駅は、近鉄鈴鹿線平田町駅と伊勢鉄道鈴鹿サーキット稲生駅と並ぶ鈴鹿サーキットへのアクセス拠点であり、中でもF1観戦客の利用が最も多い駅である。

近鉄名古屋駅は東海道新幹線を利用する観戦客が近鉄白子駅に向かうための中継駅となる。

また、鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会が実施したアンケートでは、自家用車はサーキット周辺駐車場に期間中駐車したままで、宿泊施設のある名古屋と毎日鉄道で往復するという記述もみられるように、近鉄名古屋―白子間は近鉄特急で約40分という利便さである。

## 2009 F1日本グランプリ企画

### ●企画内容

#### 【近鉄名古屋駅ポスタージャケット】

- ホームB1ポスター集中貼り (B1/25枚)
- 特急ホームB1ポスター掲出 (B1/7枚)
- 階段壁面B0臨時パネル (B0/11枚)
- 連絡通路B0×4連×2枠 (B0/8枚)

近鉄名古屋駅では、通常のB1集中貼りセットに加えB0臨時パネルなどの増設によりB0ポスター19枚、B1ポスター32枚の集中掲出を実施。近鉄白子駅ではホーム・改札周辺・駅前ロータリーに特設ボードを設置し、B0ポスター53枚を掲

出。パナソニック一色とした。

#### 【近鉄白子駅ポスタージャケット】

- ホーム特設ボードB0×3連×12枠 (B0/36枚)
- 改札付近特設ボードB0×6連、B0×3連、B0×2連×3枠、B0×2枠(B0/17枚)

#### ●掲出期間

平成21年9月29日～10月5日

#### ●クライアント

パナソニック株式会社



ホーム特設ボード(B0×3連)

### 交通広告の役割

続々と改札口に向かう光景が見られた。

鈴鹿サーキットはF1GPのほかに、ゴカコーラゼロ「鈴鹿8時間耐久ロードレース」という夏の祭典をはじめ数々のモータースポーツを開催する。また鈴鹿市も「モータースポーツ都市宣言」を行いモータースポーツを観光振興と地域活性化のキーワードとして掲げている。我々もこのモータースポーツにフィットするクライアントと



広場

# 「我家のペットはサラブレッド」

監事 稲川 一 (株式会社文宣)

もに交通広告を通じて地域に貢献していくことを目指していきたいと考える。  
パナソニック株式会社様はトヨタF1

チームのメインスポンサーであり、今回の近鉄名古屋駅・白子駅「F1企画」に応募のごとくパナソニック・トヨタ・レーシングチームは前回のシンガポールGPに

続き2位と大健闘を見せた。残念ながらトヨタは今シーズンををもってF1レース活動を休止するが、我々は2010年も「聖地・鈴鹿」でのF1GPをさらに進化

させた「F1企画」で応援したい。  
\*Formula One Administration  
(フォーミュラワン・アドミニストレーション): F1の商業活動の為に運営組織の一つ。出典(google)

父親が競馬好きだったこともあり、幼い頃からよく競馬場に連れて行かれた。たぶん父は母親の手前、幼児である私を連れて行ったほうが、体裁が良かったのであろう。

幾度か通ううち、私は幼心にもアスリートであるサラブレッドの美しさに魅了された。それと同時に、レースに勝った馬とウイナーズサークルで記念撮影に収まる馬主(バヌシではなくウマヌシというのが通)の姿に憧れた。「いつか自分も、自分の馬とあそこに立ってみたい」。いつしかそんな夢を強く持つようになった。

ところが歳を重ねるうちに、あの場に立つのは並の経済力では難しい世界であることを知り、夢は挫折しかかっていた。そんなあるとき、1頭の競走馬を複数の会員で持つクラブがあることを知る。クラブによって1頭あたり40口、100口、中には400口と持分の違いがあるので、クラブを選択すれば自分のできる範囲で「オレの馬」を持つことができる。「これだ!夢を実現させるにはこれしかない!」。すぐに某クラブに入会し夢を追いかけ始めた。17年前のことである。

まず第一歩は、前の年に産まれたクラブが所有する数十頭のサラブレッドの中から、1頭を選んでそれに一口出資することから始まるのだが、総額がビックリするような金額の馬でも、口数が口数だから普通のペットショップにいる血統書付きの犬や猫のそれと大差はない。ま

た、月々掛かる牧場や厩舎の費用も、口数で他の会員と均等割りになるので家で飼うペットより掛からないはずだし、散歩させる手間もいらない。もちろんレースで獲得した賞金は口数に応じて配当される。「オレの馬」は「オレのペット」と思うことにした。

いざ愛馬がレースに出るようになると楽しみはどんどん増すのだが、そこは勝負の世界。なかなか思うようにいかない。何年もクラブに在籍しながら勝利を体験したことがない会員もかなり多いと聞いた。生き物だから育成中のケガや病気で競走馬になれないものもでてる。「オレのペット」は勝つことができるのだろうか。勝ってくれなければ夢は叶わないと心配もしたが、幸運にも、以外と早くその時は来た。

最初の愛馬が無事デビューして4戦目だった。目の前で愛馬が先頭ゴールした瞬間、頭の中は真っ白になり、次への行動をどうしたらいいのか分からなくなる。クラブの係員の誘導でやっとウイナーズサークルにたどり着いたが、その場に足を踏み入れるとヒザが震えてコケそうになる。記念撮影で隣にいる愛馬の体温を感じたとき、不覚にも目が潤んでしまった。夢が叶った瞬間の写真は、笑顔であったが少々引きつっている。

歴代の持ち馬で、一番の活躍馬は「ダンスインザムード」。04年の桜花賞、06年のヴェイクトリアマイルというビッグレースを勝利した。競馬を

ダンスインザムードと私(04年夏・北海道の牧場にて)



多少でもかじった人ならば、知らない人はいい一時期のヒロインである。彼女はアメリカや香港の国際レースにも遠征し、アメリカでは優勝することもできた。さすがにアメリカまでは応援に行けなかったが、早朝の衛星生中継を家族全員で観て声援を送り歓喜した。家族といえど、子供たちは私の影響もあって以前から競走馬に興味を持っていたが、妻はそれに冷たい視線を送っていた。しかし、現金なものでムードの活躍により態度が一変。そのころから「オレのペット」は「我家のペット」になってしまった。彼女はすでに現役を引退し母親になっている。今は、来年デビューするムードの長女の活躍が待ち遠しい。

中央競馬は主に土日に開催される。愛馬が出走予定の週は、ゴルフ場に行くか、競馬場に行くか、迷い悩むのもこれまた楽しい。

今回は副会長佐々木信幸氏の予定です、お楽しみに。



# 平成21年度第2回理事会を開催

10月26日(月)ホテルメトロポリタンエドモントにおいて40名の理事が出席(含む代理人出席、委任状出席)し開催した。

## 岩崎会長 挨拶

本日は天候の悪い中をお集まりいただきありがとうございます。早速理事会を開催したいと思えます。前回8月10日の理事会、法人改革については認定申請案を

議決していただき、その際、8月末か9月上旬には遅くとも申請をしたいと申し上げたておりましたが、国交省との調整に意外と手間取りまして、最終的に9月28日に内閣府、総理大臣宛に申請をいたしました。電子申請ですので、ボタンを押すだけで申請受付という答えが返ってまいりました。大変頼りないものでした。そういうことで申請は終わりました。恐らくこれから審査が始まるということになると思えます。今の状況を簡単に申し上げますと、総理府の管轄の社団法人は6000位といわれています。現在の申請状況は、事務局の資料によりますと6000の内27件が申請しており、そのうち4件が認定されている、5件が理由は分かりませんが取り下げたと出ております。

当協会が申請してまだ1か月にしかありませんので、現在の時点では認定委員会の方からまだ何の照会もありません。ただ待っているという状況です。今のところ、受付から認定に至るまでの平均所要

日数は130日と事務局の資料には出ておりますので、まだ当分このまま待つという事ではないかと思えます。いずれにしろ、審査のベルトに載っておりますので、そのうち照会があったり、質問があったりと反応があると思えます。

さて、2番目の問題の環境キャンペーンですが、お陰様で成功裏に終わりました。皆様の極めて熱心なご協力に対して、厚く御礼申し上げます。回を追うごとに反響が大きくなってきたという感じがします。芸術家の先生もそれぞれに具体的な反応もあるようで、大変喜んでもらっております。ポスターの作成も益々これからはやりやすくなるという手ごたえがあります。いずれにしても、皆様方のご協力に對しまして、本席を借りまして厚く御礼を申し上げます。来年も引き続き4回目に挑戦したいと思っております。宝くじ協会の来年分の助成申請の締切が、さる10月15日ということでありましたので、今回のキャンペーンが完了した報告書と来年度の申請書を協会に提出いたしました。事後になります。来年8月、4回目の環境キャンペーンを実施するというところでご了承願いたいと思えます。5回目になる、再来年については交通モラルを含む社会モラルを採り上げ倫理キャンペーンをやってみたいと思っております。来年

10月の申請期限までに、成案を得て理事会にお諮りしたいと思っておりますので、また色々ご協力を賜りたいと思っております。

その他各委員会でもそれぞれ取り組んでいただいている課題があるわけですが、これから事業計画は慎重に作らなくてはなりません。常に公益事業比率を頭の中に置いて事業計画を組んでいくということになります。そういう意味では是非ともひとつ検討課題の進捗率をあげていただいて、具体的な成果作りをこの機会にお願い申し上げます。

政権交代があり、大変な勢いで民主党政権がスタートしました。圧倒的多数を持つ民主党政権がこれからどういう政策を展開されるのか見守りたいと思えます。その中で鳩山総理自身が地球温暖化効果ガスを2020年に1990年比25%削減を全世界に声明しています。そういう意味でも我々としても、これは本気で具体的な取り組みが必要だと考えております。

そういうことで本日は、先般の総会でも講演いただきました、シヨッピングセンター協会環境委員長のルミネの鈴木常務に、環境の話をしてもらいますので、皆さん是非ご清聴のほどよろしくお願い申し



理事会で挨拶する岩崎会長(中央)

上げます。それでは本日の理事会、よろしくお願いたします。

## 1. 公益社団法人移行認定申請進捗状況について

河田専務理事から議案書の資料について説明のあと、岩崎会長から申請は既に済んでいるので今は待つしかないが、認定等委員会よりなにか照会があれば、それに迅速に対応し認定がもらえるよう努力したいと補足説明があった。





発言する浅沼近畿・中国・北陸支部長

## 2. 第3回環境キャンペーン 実施報告及び来年度助成 申請について

河田専務理事より説明があり、次とおり、意見が出され、この件については了承された。

岩崎会長から、こういうものを手がけることによって、業界全体のイメージが向上してくると思うので、事業環境の改善につながると思う。そういうことも大きな目的の1つとして追求している。公共的なことを行ないながら、それがイメージアップとステータスの向上につながり、事業の繁栄をもたらすという良き循環を期待している。いずれは隔年で、環境とモラルを繰り返し問いかけて行きたいが、宝くじ協会から助成金をもらわないことには実現困難なので、これからは、これは外せないものなのだと考えてもら

えるように努力をしていきたいと発言があった。

また、滝副会長から、国土交通大臣も変わったことなので、新しい大臣にもポスターを見せて説明しておくといいいのではないだろうか。これだけの実績があり、評価をいただいているので、それを示しておいた方がいいのではないかと発言があった。

## 3. 各支部の本年度 上半期活動報告について

各支部長より、上半期の活動報告があった。

### ○北海道支部

(1) 支部幹事会の開催(4月21日)

(2) 支部総会・懇親会の開催

(4月21日:於札幌全日空ホテル)

●16社16名の参加があり、平成20年度事業・決算の報告の後、平成21年度事業計画及び予算が承認された。

(3) 地球温暖化防止キャンペーンの実施

### ○東北支部

(1) 媒体開発勉強会の開催

●仙台都市圏での新規媒体開発、既存媒体の仕様変更、販売ツールのデジタル化等をテーマとして意見交換した。

●デジタルサイネージについて関心が高い割には、首都圏以外は実例がないので、急遽首都圏(東京・品川・秋葉原)のデジタルサイネージの視察を行った(8月)。

(2) 仙台駅「iステーション」説明会

●JR仙台支社による、メーカーとのコラボでデジタルサイネージと情報ボード2面を合わせた、仙台駅「iステーション」の試験運用開始時に実施した説明会に、メーカーの担当者が多数訪れ、今後の媒体化に向け検討会を開催した。

(3) 今後の活動予定

●支部総会の開催(1月下旬)

●セミナーの開催

### ○首都圏支部

(1) 支部幹事会の開催

(7月13日:於JR東日本企画会議室)

●幹事変更

(退任)河田健治氏

(社)全国鉄道広告振興協会専務理事

●平成21年度事業計画として支部総会の

開催、交通広告実務者研修の実施、セミナーの開催、関東交通広告協議会との交流、周辺エリアの活性化等の具体案とそれに伴う予算が承認された。

(2) 交通広告実務者研修の実施

(9月2日:於E B I S 3 0 3 会議室)

●新人等交通広告経験が浅い会員社員を対象とした研修会を開催し、受講者87名の参加があった。現在新型インフルエンザがはやっているが、87名を半日間同一の場所に閉じ込めたまま研修するので、研修期間中のマスクの着用とか、教室の前にアルコールの手洗い設備を今年は設置したが、今後、こういう集団の研修を行なう場合には、インフルエンザ対策を考える必要があるかと思う。

(3) 交通広告実務者研修の実施

(9月28日:於JR長野倶楽部会議室)

●長野エリアにおいて初めての開催。日頃なかなか研修を受けにくい首都圏周辺エリアで地元会員社員を対象とした研修会を開催し、受講者25名の参加があった。

(4) 今後の活動予定

●セミナーの開催(11月16日)

演題:「交通広告を含めたOOHの新しい取組みについて」

(具体的な展開例と交通広告への期待)



講師：三宅隆介氏日清食品

(12月、22年2月にも開催予定。講師、テーマについては検討中)

●支部総会・懇親会の開催  
日時：22年2月8日(月)  
会場：ホテルメトロポリタンエドモント  
(予定)

## ○中部支部

(1)支部総会・懇親会の開催  
(6月19日：於レセプションハウス名古屋  
古屋通信会館)

●25社の参加があり、平成20年度事業・決算報告、平成21年度事業計画・予算が満場一致で承認議決された。



理事の皆さま

(2)地球温暖化防止キャンペーンの実施  
(8月)

(3)今後の活動予定

●媒体視察の実施(12月3日)  
●セミナー及び支部会員交流会の開催

## ○近畿・中国・北陸支部

(1)支部総会・懇親会の開催  
(7月6日：於ホテルグランヴィア大阪)

●72名の参加があり、平成20年度事業報告、平成21年度事業計画及び予算が承認された後、支部運営内規(案)の紹介、本部理事の選任、新規加入会社、幹事及び支部事務局担当者委嘱変更などが報告された。

(2)セミナーの開催  
(7月6日：於ホテルグランヴィア大阪)

演題：「webで変わる企業のマーケティング戦略」

講師：平塚元明氏

(3)交通広告実務研修会の実施  
(9月11日：於(株)ジェイアール西日本  
本コミュニケーションズ会議室)

(4)今後の活動予定

●上海交通・屋外広告視察研修旅行の実施(10月29日～11月1日)

●支部幹事会の開催(11月6日)  
●セミナーの開催(平成22年2月中旬)  
●関西交通広告協議会との連携

## ○四国支部

(1)支部幹事会の開催  
(5月20日：於ジェイアール四国企画会議室)

(2)支部総会・懇親会の開催  
(6月12日：於全日空ホテルクレメント高松)

●12社中9社の出席があり、平成20年度事業・決算の報告の後、平成21年度事業計画及び予算が承認された。

●支部会則の一部改正及び役員改選が承認された。

(3)今後の活動予定

●支部会員交流会の開催(12月)  
●ビデオ研修会の開催(22年3月)  
●企画・提案のできる人材の育成

●新規会員の入会懇話

## ○九州支部

(1)セミナーの開催  
(5月11日：於ホテルオークラ福岡)

●このセミナーは、九州鉄道広告会行事との連動で開催され、72名参加者があった。

●演題：「身土不二のすすめ」(地産地消の進め)

●講師：伊豆美沙子氏 フードコラムニスト

(2)活動内容及び予定

●支部運営小会議の開催(4月20日、7月24日)

●支部運営会議の開催(4月24日)

●支部総会・セミナー・懇親会の開催  
(12月9日：於ホテル日航福岡)

●九州鉄道広告会、西鉄広告会、福岡市営地下鉄交通広告会との連携、強化

## 4. 委員会等の

### 委嘱変更について

河田専務理事より、定款施行規則第14条に基づき、以下のとおり副委員長の委嘱



変更についての報告があり、了承された。

## 技術開発委員会

副委員長

(退任)古嶋 一朗

(株)東急エージェンシー

(新任)横山 淳一

(株)東急エージェンシー

(新任)望月 敏弘

(株)春光社

(平成21年10月26日付)

## 北海道支部

### セミナーを開催しました。

JARAP北海道支部では支部研修会として10月13日(火)(株)北海道ジェイ・アール・エージェンシー本社会議室で、啓蒙活動の一環として「職場のハラスメント防止」という重要なテーマについてセミナーを開催し、支部会員社19社から14名の参加がありました。

講師にはハラスメント防止に関する講演等を数多く行われている、財団法人21世紀職業財団北海道事務所 志賀千栄子氏をお迎えしました。

## 5. 今後の予定について

河田専務理事より、以下の日程で今後の理事会及び定期総会の開催を予定する旨、連絡があった。

### 第3回理事会

日時：平成22年1月25日(月)14時00分  
会場：調整中

## 第4回理事会

日時：平成22年3月25日(木)13時00分  
会場：ホテルメトロポリタンエドモンド  
3F「春琴の間」

### 平成22年度第1回理事会

日時：平成22年6月上旬  
会場：調整中

### 平成22年度定期総会

日時：平成22年6月上旬

## ● 支部便り ●

ればならないというものでした。

事例についてもいろいろとお話を聞くことができ、参加された皆さんは真剣に聞き入っていました。

研修会終了後、多くの方から「大変参考になりました」との言葉をいただきました。

最後に北海道はこれから寒い時期になります。雪景色もすばらしいものです。

ぜひ北海道にいらして温泉に入り、おいしい食べ物を満喫してください。

お待ちしております。



講習中の志賀千栄子氏

講演内容は、職場におけるセクシュアルハラスメント、パワー・ハラスメントについて、これらについてはこの職場でも起こりうる可能性があり、特に法的にも厳しく管理を求められており注意をしなければ

会場：調整中

(定期総会終了後、セミナー、懇親パーティーの開催を予定)

参考

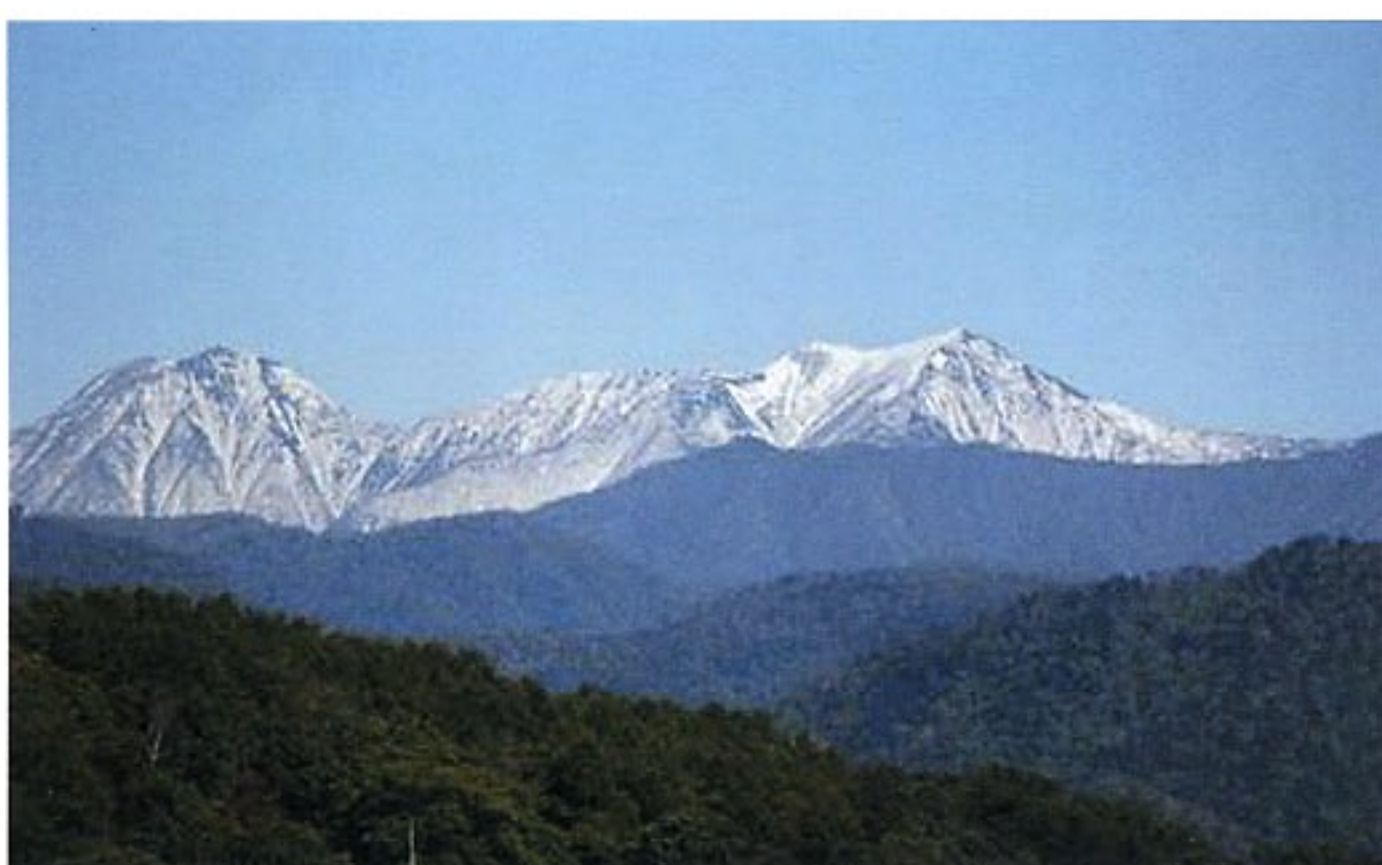
平成22年広告界合同年賀会

日時：平成22年1月6日(水)

15:30～17:00

会場：帝国ホテル2階「孔雀の間」

以上



北海道の初雪は早いのです



首都圏支部

セミナーを開催しました。

11月16日(月)、宣伝会議セミナールームにおいて、第1回首都圏支部セミナーを開催いたしました。

当日は116名の会員が参加し、日清食品(株)宣伝部主任 三宅隆介氏が「交通広告を含めたOOHの新しい取り組みについて」(具体的な展開例と交通広告への期待)というテーマでお話いただきました。

参加者からのアンケートにも、「実際にクライアントの方から、じかに交通広告の価値、使い方、効果について意見をいただけたことは大きい」、「もっと臨機応変に対応できる媒体を構築したい」などの回答が数多く寄せられ、大変盛況の内に終了いたしました。

首都圏支部では、今後12月10日もセミナーを開催いたしますので、皆さまのご参加をお待ちいたしております。



※今回のセミナーはJARAP NEWSに掲載する予定です。

委員会便り

調査研究委員会

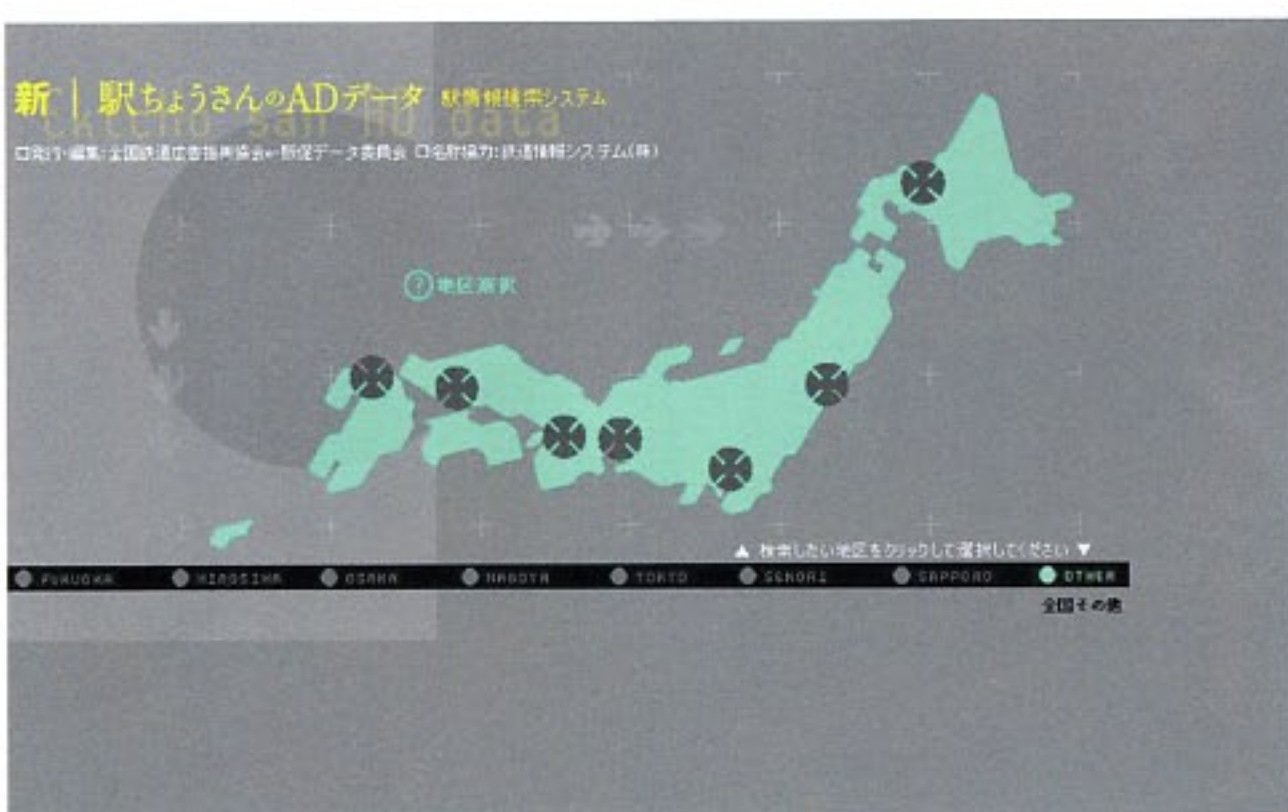
11月2日に第1回の委員会を開催し、各種データ整備への取組み及びe・販促データの取扱いを中心に、今後の活動計画について討議をおこなった。

各種データ整備については、e・販促データの拡充等を含めて検討がおこなわれた。e・販促データは、現在「駅ちようさん」「中づくりくん」システムによるデータ提供を行っているが、システム自体のバージョンアップもあり、今後システムの大改修が必要となる時期が迫っていることから、この改修に対してどのように取り組むか討議が行われた。

改修には多大な時間と資金が必要なことから、改修を契機に、JARAP全会員が利用できるデータベースを提供してはどうかとの意見もあり、具体的にどのようなデータが提供できるのか、データベースを構築するのにどのくらいの費用がかかるのか等の検討を、e・販促データ編集委員会でおこなうことになった。

また、各種データ整備の観点から、データ内容をどの程度深度化するかを標準化委員会等の他委員会と緊密に情報交換を行い、検討していく方向が討議された。

更にJARAP NEWSへ「マーケティング講座」等を定期的に掲載することで会員のスキルアップを図ることが検討された。



現行の画面



新 駅ちようさん 中づくりくん

編集後記

八百屋の店先に並んだ柿を選んでいました。「普通の富有柿と、元波柿だったのと、種が無いのがあるよ」と言われ、元波柿は、焼酎で渋を抜いたものか聞いてみました。「こっちは焼酎で抜いたので、こっちはガスで抜いた柿」と言われ、びっくりしました。ガスで渋を抜くのは、焼酎よりも日数がかからないから、ぱりっと堅いまの果肉を保てるからということでした。その柿も普通に甘かったですが、最近の「アグリ技術」に不思議な思いがしました。

日々寒さが増してきています。風邪やインフルエンザの予防に、こまめな手洗いとうがいを欠かさずにしましょうね。

●メールと写真、ご意見、ご感想はこちらへどうぞ。 [information@jarap.jp](mailto:information@jarap.jp)



●次号Vol.47は2010年1月1日発行予定です。お楽しみに。